

和漢朗詠集上

春

立春

早春

春興

春夜

子日付若菜

三月三日

日付桃

暮春

三月盡

潤三月

鶯霞

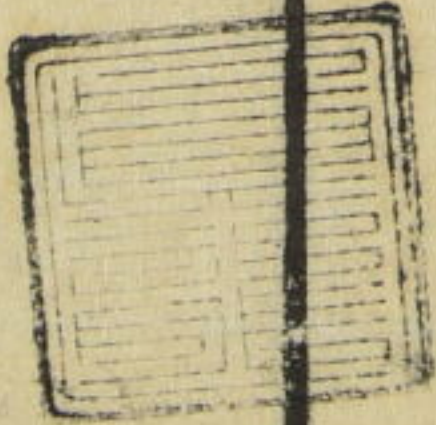
雨

梅付紅梅

柳

花付落花

躑躅



歎冬 藤

夏

更衣 首夏 夏夜 端午

納涼 晚夏 花橘 蓮

郭公 螢 蟬 扇

秋

立秋 早秋 七夕 秋興

秋晚 秋夜 八月十五夜 付月

九月九日 付菊 九月盡 女郎花

萩 菊 種 前栽

紅葉 付葉 鴈 付鴈 虫 鹿

露 霧 擣衣

冬

初冬

冬夜

歲暮

爐火

霜

雪

冰

付春

霰

佛名

春

立春

逐吹フク潜開ヒソカニ不待マテ芳菲ハナヒ之候ノトキ迎春ハルヲムカフ乍變ヒトツキニ將希ヨクナラズ

雨露之恩ウツロノオン

公案億

池凍イケノコ東頭トウ風度カゼノトキ解トキ窗梅マヅメ水面ウミ雪封ユキノト寒サムイ

萬茂

柳ヤナギ無氣ムシクハ力條チカラノ先動マツ池有波イケニナミ文冰フニ盡開ツク

柳無氣力條先動池有波文冰盡開

白香易

今日不知誰計會春風春風一時來

夜向殘更寒磬幽春生香火曉爐燃

神ひらけけけけけけけけけけけけ

少くもてけけけけけけけけけけ

早春

冰消田地蘆葦短春入枝條柳眼低

先遣和風報消息續教啼鳥說來由

良春道

三ノ...

東岸西岸之柳遲速不同南枝小枝之梅

開窓已異

紫塵嫩蕨人拳手碧玉寒蘆錐脫囊

氣霽風梳新柳髮冰消浪洗舊苔鬚

庭增氣色晴砂綠林變容輝宿雪紅

山嵐...

...

保胤

野相公

都良香

紀納言

...

...

こわくせけは...
...
...
...
...

手紙

手紙

春興

花下忘歸因美景樽前勸醉是春風白

野草芳菲紅錦地遊絲繚亂碧羅天 劉禹錫

歌酒家花處空管領上陽春白

山桃復野桃日曝紅錦之幅門柳復岸柳

風宛翹塵之絲

紀齊名

著野展敷紅錦徧當天遊織碧羅綾 野相公

林中花錦時開落天外遊絲或有無 田達音

笙歌夜月家思詩酒春風處情 管三品

...

...

春夜

赤人

赤人

宵燭共憐深夜月踏花同惜少年春白
たのむの花のやととあやれしものよ
いけしけしとてゆかやハかくけし
子日 付 畧 菜

倚松樹以摩腰習風霜之難犯也和菜羹
而啜口期氣味之克調也
倚松根以摩腰千年之翠滿手折梅花而
挿頭二月之雪是衣
音 尊敬

孫のひり小志んひふりまのほ小松
ひりくやちんれうまひんまひり
おのむすりのしこふのなるまをハ
ちしれもまんにやとひり
ちしれくくまれふねもくふり
まふりひりけり代やひり
畧 菜

野中毛菜世事推之蕙心爐下和羹俗人
屬之羹指
あまかひりふりふりふりふりふり
何しめかふりふりふりふりふり
人丸

止

菅丞相

何方... 赤人
三月三日 付桃
影

春来遍是桃花水不辨仙源何处寻 王维
昔之暮月三朝天醉于花桃李之盛也
我君一叶之泽万机余曲虽遥遗塵
絶書巴字而知地势思魏文以散風流

盖志之所之謹献少序云尔 音

煙霞遠近應同户桃李淺深似翻盃 音丞相

水成巴字初三日源起周年後幾霜 音蕭茂

礙石遲來心竊待牽流遶手先遮 音雅規

桃

夜雨偷濕曾波之眼新嬌曉風緩吹不言
之唇先暖 紀納言

夕々々せふたつてゆも此こころ
あはれ小はるけり
三子

暮春

拂水柳花千方點隔樓鶯舌兩三聲元稹
低翅沙鷗潮落曉亂絲野馬草深春菅丞相
人無更少時須惜年不常春酒莫空小野篁
劉伯若知今日好應言此處不言何源順
心了了以了了れ月りを杖負えれや
ふふふふふふふふふふふふふふふふ

早稲

三月盡

留春々不駐春歸人寂寞賦風々不定風

起花蕭索

白

竹院君閑消永日花亭我醉送殘春同
惆悵春歸留不得紫藤花下漸黄昏同
送春不用動舟車唯別殘鶯與落第菅丞相
若使韶光知我意今宵旅宿在詩家

留春不用關城固
花鳥隨風鳥入雲
萬劫

くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時

閏三月

今年閏在春三月
剩看金陵二月花
陸侍郎
歸谿詩鶯更逗留
於孤雲之路
醉林舞蝶

還翩翩於二月之花

源順

花悔歸根無益
悔鳥期入谷
定延期

滋藤

くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時
くふれくもふんおらお時

伊勢

鷺

鷺既鳴忠臣待
旦鶯未出
遺賢在谷

賈島

詠家碧樹鶯啼而
羅幕於垂
幾處花堂夢
覺而珠簾未卷

謝觀

咽霧山鶯啼尚少穿沙蘆笋葉終分元稹
 臺頭有酒鴛鴦呼客否面無塵風洗池白
 鶯聲誘引來草下草色拘留坐水邊白
 感河類於相求離鴻去存之應春轉之異一
 氣而終混就吟魚躍之伴曉啼菅三品
 燕姬之袖暫收猜繚亂於舊拍周郎之簪菅三品
 頻動頰間關於新花同

新踏如令穿有雪舊巢為後屬春雲菅承相
 西樓月落花間曲中殿燈殘竹裏音菅三品
 けらけらとものゝこゝろかへるあゝたを
 けらけらとものゝこゝろかへるあゝたを
 けらけらとものゝこゝろかへるあゝたを
 けらけらとものゝこゝろかへるあゝたを
 けらけらとものゝこゝろかへるあゝたを

霞光曙後散於火草色晴來嬾似煙白居易

霞

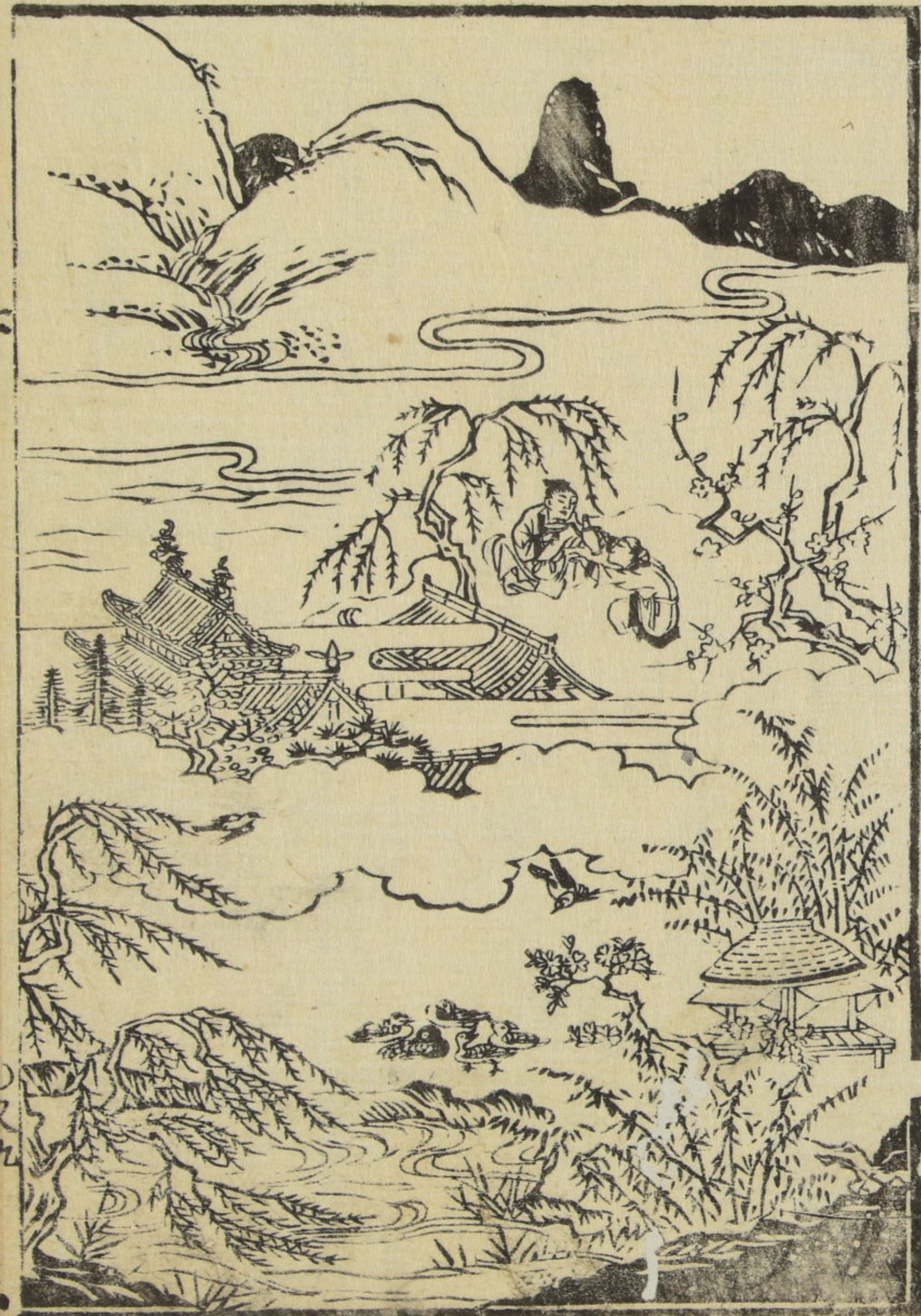
鑽沙草只三分許 跨樹霞纔半段餘
 菅丞相
 昔丞相
 人
 赤人
 五

雨

或垂花下潛增墨子之悲時舞鬢尚暗動
 潘郎之思
 都在中

長樂鐘聲花外有 龍池柳色雨中深
 李嬌
 名得自為花 父母洗來寧辨染君臣
 紀綱
 花新開日 初陽潤鳥老歸時 薄暮陰
 曹三品
 斜脚暖風先扇處 暗聲朝日未暗程
 傑
 梅 付紅梅

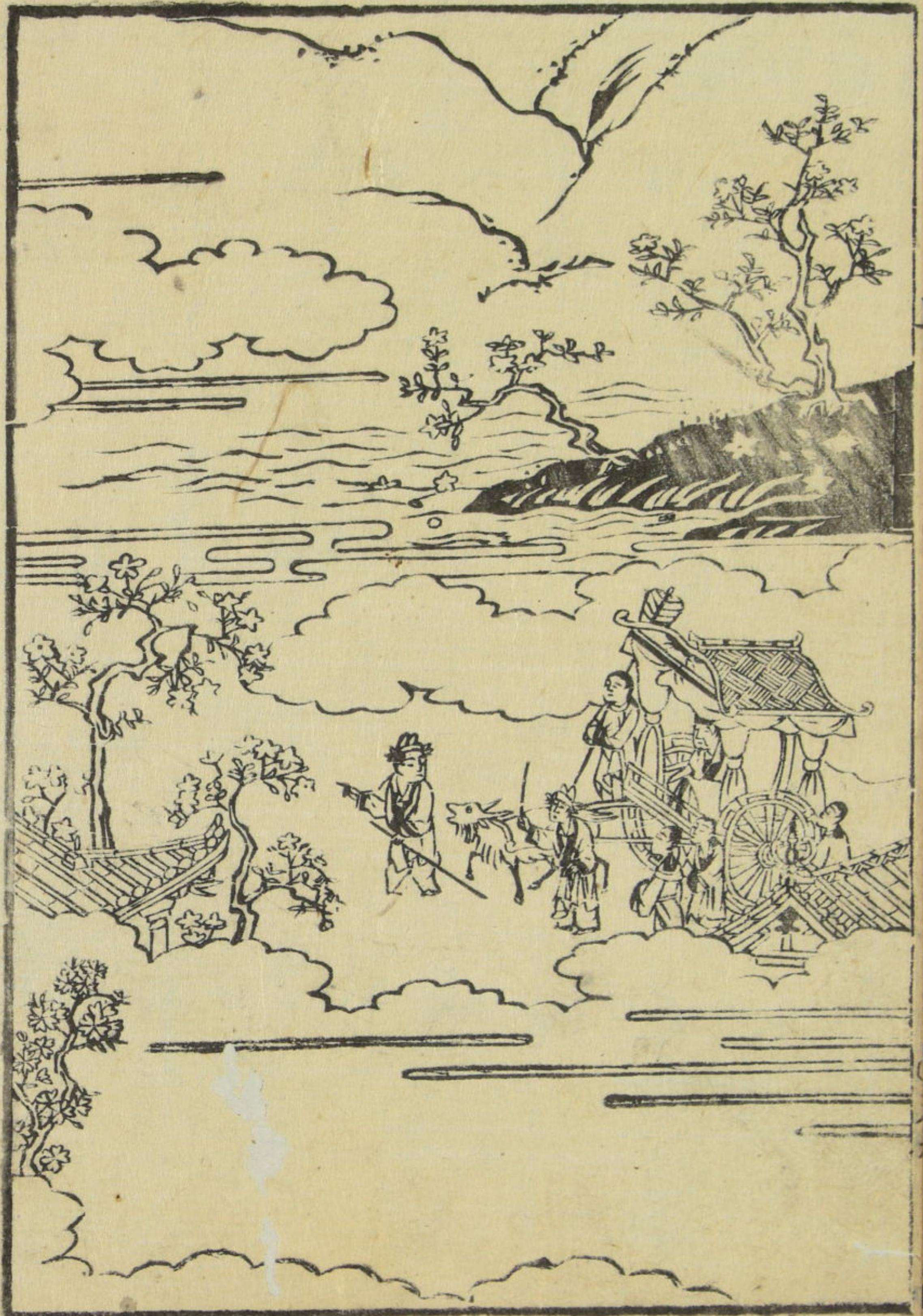
梅 付紅梅



白片落梅浮澗水黃梅新柳出城墻
 白片落梅浮澗水黃梅新柳出城墻
 梅華帶雪飛琴上柳色和煙入酒中
 漸薰臘雪新封裏偷綻春風未扇先
 青絲絲出陶門柳自玉裝成庾嶺梅
 五嶺蒼々雲往來但憐大庾萬株香
 唯言春色從東到霞暖南枝花如開
 一水一山一草一木一石一鳥一魚一
 一草一木一石一鳥一魚一

白片落梅 白居易詩
 黃梅新柳 白居易詩
 梅華帶雪 白居易詩
 柳色和煙 白居易詩
 入酒中 白居易詩
 漸薰臘雪 白居易詩
 偷綻春風 白居易詩
 未扇先 白居易詩
 青絲絲出 白居易詩
 陶門柳自 白居易詩
 玉裝成 白居易詩
 庾嶺梅 白居易詩
 五嶺蒼々 白居易詩
 雲往來 白居易詩
 但憐大庾 白居易詩
 萬株香 白居易詩
 唯言春色 白居易詩
 從東到 白居易詩
 霞暖南枝 白居易詩
 花如開 白居易詩
 一水一山 白居易詩
 一草一木 白居易詩
 一石一鳥 白居易詩
 一魚一 白居易詩

安倍廣庭



竹のこゝに人をもと思ひ〜じめのふ
 それ〜〜〜あな乃少れ〜〜
 か〜〜〜〜〜〜〜〜〜梅のふ
 はや〜〜〜〜〜〜〜〜〜

紅梅

紅梅

紅梅

梅ハナ含フク難ナシ古コ兼カミ紅ベニ氣キ江エ弄マカ瓊ユキ帯オビ碧アヲ文フミ

浅アサ紅ベニ鮮アサ妍カサリ仙セウ方ハツ之ノ雪ユキ灰ハイ色イロ濃コク香カ郁ウツクシ妓キ爐ロ

之煙讓薰

橋玉通

有アリ色イロ易ヤシ分ワキ残セ雪ユキ底ソコ無ナシ情コト難ナシ辨ワカ夕ユフ尚ナカ中ナカ

兼明

しるふこれハまゝに物ハ...
いしりあらしらしに...
けとやまのまゆし...
しるふこれハまゝに...

花 付落花

花明上苑輕軒馳九陌之塵猿叫空山斜
月瑩千巖之踏

長讀

池色溶々藍深人花多爛々火燒春白
遙見人家花便入不論貴賤與秋殊白

瑩日晏風高低千顆萬秋々玉染夜染浪
表裏一入再入之紅

菅三品

誰謂水無心濃艷臨兮波變色淮泮花不
語輕漾激兮影動層

菅三品

欲謂之々則漢女施粉之鏡清晏欲謂之
花亦蜀人淮文之錦繁爛

順

織自何絲唯暮雨裁無定樣任春風

菅三品

花飛如錦幾濃粧織者春風未盡相源英明

始識春風機上巧非唯織色織分方同

眼貧蜀郡裁殘錦耳倦秦城調中箏源相規

垂のふりにをまてくくはまうくとは

くふれくふれのうけくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくく

落花

落花不語空辞树流水无心自入池白

朝踏落花相伴出暮随飞鸟一时带同

春花面入關入酣暢之筵曉鶯聲源英明

講誦之座源英明

落索狼藉風狂後啼鳥就鐘雨打時同

離閣鳳翅憑檻舞下樓娃袖顧階翻菅三郎

さくさくさくさくさくさくさくさく

ろくろくろくろくろくろくろくろく

ろくろくろくろくろくろくろくろく

ろくろくろくろくろくろくろくろく

々乃り了此のののやけののりて
これと何となくほらむか

躑躅

晚葉尚開紅躑躅秋房初結白芙蓉白

夜遊人欲尋來把寒食家應折得驚源順

かゝいひけふこまりのののいしつり
いとほいしそりそまきもの

歎冬

點著灘笑天有意歎冬誤綻暮春風清慎公

書窓有卷相收拾詔牋無文未奉行保胤

かくはかくゆくゆくはやくはやく
いふやうにんやうのいふ

まじりやうのやえみまのいふ
りりあかりあかりのいふ

藤

悵望慈恩三月あ紫藤花落鳥關白

紫藤露底残赤色翠竹煙中暮鳥聲源相規

紫茸偏奪朱衣應是花光忘憶臺
順おかり

多古此海そくそくにありつらふらふ
かきつてゆく舟しんぬ人のくさ
とれよなるねれまもくたはやまくと
うれふゆらのうたけちる小
影
絶

夏

更衣

背壁燈残経有燭開箱衣带隔年香白
生衣欲待家人着宿釀當招邑老醉
管
花の香にうたけつれか
こらとくさまもくたはやまくと

首夏

甕頭竹葉経春熟階底蓄微入夏開白
苔生石高輕衣短荷出池小盖疎
物却安
やの屋のくさやけら
なげまにきりときゆさくはつか

夏夜

風吹枯木晴天雨月照平沙夏夜霜白
凡竹夜窻間月照松叶臺上行白

空夜窓閑螢度淡深更竹白月明初
紀納言

夏の書とれぬは何ぞとていふよし
人

わらわらと笑ふやとていふよし
因

なみの長いゆゑに
名

端午

有時當戸危身立竹意故園任脚行
管

わらわらと笑ふやとていふよし
名

きのこくくくくくくくくくくくく
紀納言

納涼

青苔地上消殘雨緑樹陰前逐晚涼
白

露簾清莹迎夜滑風襟蕭瑟乞秋涼
同

不是禪房無熱到但能心靜即身涼
同

班婕妤團雪之扇代岸風兮長忘燕昭王
昭王

招涼之珠當沙月兮自得
匡衡

卧見新圖臨入障行吟古集網凉付菅

池冷水無三伏夏松高風有一聲秋

源英明

すけやとるも射とるもららばハ
石のきまらふれこなりのおま
あふくふらふの秋よかや
あふいけののふまふらき
たひきまにいと井ののふまふら
かくかきとととひきまら

中務

多経

晩夏

竹亭陰合偏夏水檻風涼不待秋

五葉は時

白

かたのまつれはあけとけまはつと
いふれはあけとけまはつと
あけとけまはつとけまはつと
あけとけまはつとけまはつと

中務

多経

花橋

盧橋子低山雨重柗葉戦水風涼

白

枝繫金鈴春雨後花薰紫麝凱凡程

後中書

さつさつあけとけまはつとけまはつと
いふれはあけとけまはつと
あけとけまはつとけまはつと
あけとけまはつとけまはつと

伊勢

多経

蓮公美

風荷老葉
蕭條綠
慕殘花
寂寞紅
白

葉展影翻
當初月
花開香散
入簾風
白

煙開翠扇
清風曉水
泛紅衣
白雲秋
許渾

岸竹枝低
應鳥宿潭
荷葉動
是魚遊
紀在昌

綠何更寬
吳山曲
便是吾君
座下花
延喜御製

經為題
自佛為眼
知汝花中
植善根
源為憲

そららけ紫のほろろとまろくねうろろり
なりけそらととむとけさゆり

陽春賦

郭公ホシキス

一聲山鳥
曙雲外
萬點水螢
秋草中

許渾

とけきやうんおけいりらふらにわろろり
れくたろろろのけいりらけろろり

明香

けいりらけろろり
けいりらけろろり
けいりらけろろり

乙女

さそら物ろろり
れろろり
へろろり

思乙

螢ホシ



螢火亂飛秋已近
 辰星早没夜初長
 白兼葭水暗螢知夜
 楊柳風高鴈送秋
 許軍明
 仍在詠
 退月
 光於屋上
 皓皓不消
 壇積雪片於床頭
 紀納言
 橋直轄
 山紅空裏疑過
 油海賊篇中
 以宿流
 此の
 赤人



蟬

遲チ々ク兮ヒ春日ハルヒ玉タマ甃イ暖ヌク兮ヒ温泉オンセン溢ト々ト兮ヒ秋アキ

風カゼ山ヤマ蟬セミ鳴ナゲ兮ヒ宮ミヤ樹ツ紅ベニ

千チ峯ホウ島シマ落ラク兮ヒ梅ウメ雨アメ五ゴ月ツキ蟬セミ聲コエ送オク兮ヒ秋アキ

鳥トリ下シタ綠キナンド蕪クワ秦シン苑エン寂シブシブ蟬セミ鳴ナゲ兮ヒ葉エフ漢カン宮ミヤ秋アキ

今イマ年ネン異イ例レイ勝カチ先マタ断ト兮ヒ不フ是シ蟬セミ悲カミ兮ヒ寤カク意イ悲ヒ

歲トシ去サリ兮ヒ來キタリ聽キコエ不フ變ヘ兮ヒ莫ムシ言コト秋アキ後ノチ逐オク兮ヒ為ナリ空カラ

紀納言

白

許渾

菅

たけやまのそひれこす乃たつそれハ
ネにせせころしとまきこゆ
あけとあよ人にとごんおひひ
れをかくひのまきこす

扇

盛夏不消雪終年無風引秋生手裏滅

月入懷中

不期夜漏初午後唯散秋風未到前

と川にさすすささささささささ
あさきのせはなげやか

人丸

野鳥

白

菅三品

十指

あさ北川河ふさ北をに東つとれて
そるすらんもれかすたの
きんくんにようすふは北凡さ
たひいっ想こまもあ

手平
云化

カ塔

秋

立秋

蕭颯涼風興衰鬢誰教計會一時秋白

鷄漸散間秋色少鯉常趨處晚聲微

秋おぬしくはんにハヤフッふく孫と
のぬれとくにそあ

保胤

班舞

うらたをふれぬを起しきもの糸ちり
つらみのけしうけくすをふりしは
秋少

早秋

但喜暑随三伏去不知秋送二毛来白

槐花雨潤新秋地桐葉風涼欲夜天白

炎景剩残衣尚重晚凉潜到筆先知 紀家

あふもこのうけいりりてしと
あふもこのうけいりりてしと

七夕

紀家

憶得少年長乞巧竹竿頭上願絲多白

二星適逢未叙別緒依之恨五夜將明

於驚涼風紙之聲 小野義村

露應別淚珠空流雲是殘粧髻未成 菅

風後昨夜聲弥怨露及明朝淚不禁 淺江相公

去衣曳浪霞應濕行燭浸流月欲銷 菅三不

河託微波那且遣意期片月欲為媒 菅輔昭

何もの所とときしりふははらと
こゝろのけしきしていかにいかに
むしむしにみよふおのりて夕夕の
あひみよふはらきけりりるきよ
とらとらにけしきしていかにいかに
わらわのけしきしていかにいかに
の

秋興

林間暖酒燒紅葉石上題詩拂綠苔
楚思眇澆雲水冷商聲清脆管絃秋
大底四時心愁苦就中腸斷是秋天
白

物色自堪傷モトヨリカミヤウキオモシク 意直將愁字作秋心
由来感思在秋天多被當時節物牽第上
傷心何處取竹風鳴葉月明前
蜀茶漸忘浮花味楚練新傳倚雪聲
おのり人よふはらきけりりるきよ
おまき乃うはらきけりりるきよ

秋晚

野田

相思夕上松臺立 蚤思蟬聲滿耳秋白
望山幽月猶藏影 聽砌飛泉轉倍聲 菅
おのふやまののまをたふさぎ
かのもふくもろのまをたふさぎ

秋夜

秋夜長 夜長無眠天不明 耿耿殘燭背壁
影蕭々 暗雨打窗聲
遲々鐘漏初長夜 耿耿星河欲曙天

鸞子樓中霜月夜秋來只為一人長 同
暮草露深人定後 竹青雲白月明前 野相公
兼葭州裏孤舟發 榆柳營頭萬里心 齊名
あひまき乃やまより此とのまよりとの
なるくくくくくくくくくくくくくくくく
あひまき乃やまより此とのまよりとの
なるくくくくくくくくくくくくくくくく
八月十五夜 付明
秦甸之一千餘里 凜冽水鋪漢家之二十

六宮冰粉飾

公案億

織錦機中已辨相思之字擣衣砧上俄添

悲別之聲

同上

三五夜中新月色二千里外故人心白

嵩山表裏千重雪洛水高低兩顆珠同

十二迴中世勝於此夕之好千方里外各

爭於吾家之光

紀納言

碧浪金波三五初秋佳會似空虛自疑

荷葉疑霜早人道蘆花過雨餘岸白還迷

松上鶴潭融可算藻中魚瑤池便是尋常

号此夜清明玉不妬

金膏一滴秋風露玉匣三更冷漢雲

楊貴妃歸唐帝思李夫人也深皇情

夕川乃碧りたる月なるかきりけれ

九

解

誰人階外久征戎何處庭前新別離白

秋水漲來船去速夜雲收過月行遲即展

不醉黔中爭在得摩圍山月正蒼白白

天山不辨何年雪合浦應逢白珠三統理平

欲和豐嶺鐘聲否其奈花亭鶴警何前中書

鄉淚數行征戎方掉歌一曲釣漁翁保胤

あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる
あふれぬものありさけいれはかいたる

九日 付菊

燕知社日辞巢去菊為重陽冒雨開皇龍

探故事於漢武則赤吏柿宮人之衣尋舊紀綱言

跡於魏文亦黃花助彭祖之術

先三運兮吹其氣如曉星之轉河漢引十
分兮蕩彩疑秋雲之迴汝川
同土

谷水洗花汲下流而得上壽者三十餘家
地脉和味食日精駐年顏者五百箇歲同土
いゝ世つりてやうとかなるゝ
中務

菊

霜逢老鬢三分白
露菊新花一半白

不是花中偏愛菊
此菊開後更無花
嵐陰欲暮契松栢之後凋
秋景早後朝之
蘭之先敗

鄱縣村間皆潤屋陶家
兒子不垂堂
蘭蕙莞自慙為俗骨
權籬不信有長生
蘭蕙莞嵐摧紫後蓬萊
明月照霜中
心さくくせくものへんくみくみくハ
あさひのほくくをくくくくく

紙解

あつねのそらにゆくまのせうらつやのまのこころの
とまりもつらきものこころのそら

九月盡

縦ヒト以モテ嶠カ函フ為シ固ク難ク留ル菊ク蕊ズ竹タケ雲クモ衢チ孤ト孟ハ
賁ホウ而シテ追フ何ナニ遮ス爽ス籟ク竹タケ風カゼ境サカイ
頭カビ自ラカ孤ト随ヒ禪ゼン空クウ乞シ以テ秋アキ施セ與ニ太トウ應オウ難ナン 同
文ブ峯ホウ按ア纏ユ白ハク駒クマ景ケイ詞ジ海カイ艦ケン舟シュウ紅ベニ葉エフ聲セウ 以言
やまのひり 秋のこころのあつねのそら
よまのひのこころのあつねのそら

子思

あつねのそらにゆくまのせうらつやのまのこころの
とまりもつらきものこころのそら

女郎花

花色ハナ如シ蒸シ栗リ俗ソク呼コト為シ女メ郎ロウ聞ク名ナ戲キ欲ボク契キ偕ハヒ
老ラウ恐コウ惡オウ策サク翁オウ首ウヘ似ニ霜シユウ

あつねのそらにゆくまのせうらつやのまのこころの
とまりもつらきものこころのそら

萩

信長

曉露鹿鳴花始發百般攀折一時情
人元
 秋の小けさかふとのこなきんあふ
伊勢
 かやゆつたのくさけり思
え物
 うけらむいとおにけりさ
 らき此のたのみにまはちま
 志ののりしり
 蘭

前頭更有蕭條物老菊兼蘭三兩聚白
 扶桑豈無影乎浮雲掩而忽昏
前中書皇

芳乎秋風吹而先敗

凝如漢女顏施粉滴似鮫人眼泣珠
都良香

曲驚楚客秋絃
直轄
 わ〜
素性

槿

松樹千年竹是朽槿花一月白為榮白
 来而不留
カミキ



籬無投暮之花

おのれもあつたまのこころも
 おのれもあつたまのこころも
 おのれもあつたまのこころも
 おのれもあつたまのこころも

前中書

前栽

多見栽花悦自侍先時豫養待開遊自吾
 閑寂家僮僕春樹春栽秋草秋
 閑思看汝花紅日正是當吾鬢白年

菅三不

保胤



曾カケテ非ハ種シユ處ト思ハ元ハ亮ケ為シ是ニ花ト時ト供セ世ニ尊ク

管丞相

しらぬにわがふしとてととらふとてとらふ
 いしとてわがふしとてととらふとてとらふ
 ふしとてわがふしとてととらふとてとらふ
 とてとてわがふしとてととらふとてとらふ

好恒子

紅葉 付添葉

不堪ズ紅葉コウ青苔セイ地チ又マタ是ニ涼風リョウフウ暮雨ボウ天ウ白ク

黄纈クハ纈ノ林ギ寒サ有タ葉ハ碧キ瑠璃ル水ミ淨ニ無ク風カゼ

洞中トウ清浅セイケン瑠璃ル水ミ庭ニ之ノ菊キク疎ス錦キン浦ウ林リン
 保胤

亮

外物獨醒松澗色餘波合力錦江聲
外物獨醒松澗色餘波合力錦江聲
外物獨醒松澗色餘波合力錦江聲
外物獨醒松澗色餘波合力錦江聲
外物獨醒松澗色餘波合力錦江聲

落葉

三秋而宮漏正長空階雨滴萬里而鄉園
三秋而宮漏正長空階雨滴萬里而鄉園
三秋而宮漏正長空階雨滴萬里而鄉園
三秋而宮漏正長空階雨滴萬里而鄉園
三秋而宮漏正長空階雨滴萬里而鄉園

秋庭不拂携藤杖閑踏梧桐葉葉行同
秋庭不拂携藤杖閑踏梧桐葉葉行同
秋庭不拂携藤杖閑踏梧桐葉葉行同
秋庭不拂携藤杖閑踏梧桐葉葉行同
秋庭不拂携藤杖閑踏梧桐葉葉行同

城柳宮槐漫搖落秋悲不到美人心
城柳宮槐漫搖落秋悲不到美人心
城柳宮槐漫搖落秋悲不到美人心
城柳宮槐漫搖落秋悲不到美人心
城柳宮槐漫搖落秋悲不到美人心

之紅綉殘

樵蕪往反杖穿朱賞臣之衣隱逸優遊履
樵蕪往反杖穿朱賞臣之衣隱逸優遊履
樵蕪往反杖穿朱賞臣之衣隱逸優遊履
樵蕪往反杖穿朱賞臣之衣隱逸優遊履
樵蕪往反杖穿朱賞臣之衣隱逸優遊履

踏葛稚仙之藥

隨嵐蕩葉合蕭瑟澣石飛泉弄雅琴
隨嵐蕩葉合蕭瑟澣石飛泉弄雅琴
隨嵐蕩葉合蕭瑟澣石飛泉弄雅琴
隨嵐蕩葉合蕭瑟澣石飛泉弄雅琴
隨嵐蕩葉合蕭瑟澣石飛泉弄雅琴

逐荻光多吳苑月每朝聲少漢林風
逐荻光多吳苑月每朝聲少漢林風
逐荻光多吳苑月每朝聲少漢林風
逐荻光多吳苑月每朝聲少漢林風
逐荻光多吳苑月每朝聲少漢林風

後中書

高相如

順

白

心る川りみら糸かろくかつくよの
やまの秋月少きそくわくわく
神を月志くれとくわくわく
これこれの糸かろくわくわく
こころ人もとくわくわくわく
こころ人もとくわくわくわく
こころ人もとくわくわくわく

鴈 併 婦 石

萬里人南去三春鴈心怨不知何年月得

興 泌 同 帰

尋陽江色潮添滿彭蠡秋聲鴈引來

劉禹錫

四五染山粧兩色兩三行存
虛弓從避味地疑於上弦之月懸
箭易
迷猶成誤於下流之水急
鴈飛碧落書青紙隼擊霜林破錦機
碧玉粧笋斜立柱青容色紙數行書
雲衣范麻羈中贈風櫓蕭湘浪上舟
秋風
後中書王

友朋

歸鴈

山腰歸雁斜牽帶水面新虹未展巾
都在中
たささるるのしとくくはくくハ
ふささるるのしとくくはくくハ

虫

切と晴窓下嚶と深草裏秋天思婦心雨
夜半人耳
ヨシヨシ
ヨシヨシ

霜草欲枯虫思客風枝未定鳥栖能同
同

床嫌短脚蚤聲南壁獸空心鼠孔穿
野相公

山館雨時鳴向晴野亭風處織羽寒
直轄

聚邊怨遠風同暗壁底吟出月色寒
順

いふふ心はるれふの先を心秋の書は
のしとくくはくくハ
のしとくくはくくハ
のしとくくはくくハ

鹿

蒼苔路滑僧歸寺紅葉聲乾席在林
白

暗遣食草身色變更隨加草德風來
とんらとねとんらあのかよふたてり
そのれさるるやあふん
ゆふつとよとよれ山にまくまると
このしとやほふんま
紀綱書

露

可憐九月初三夜露似真珠月似弓
露滴蘭蕪寒玉白風衝松葉雅琴清
とゆーとあさーゆとあ秋とんか
むやこふとくたけと
源英四

霧

竹霧曉籠街嶺月嶺内暗送る江春
雖愁夕霧埋入枕於愛烟雲出馬鞍
あさささ此柳りくはくくくらぬれ
そくくくこのやとくみくく
そくくゆんのにささるらほくく
さこのやまもくくくく
後江相公

擣衣

八月九月正長夜千聲萬聲無了時
白

斗星前橫旅雁南樓月下擣寒衣
劉元叔
 擣處曉愁聞月冷裁將秋寄塞雲空
曹駕式
 裁出還迷長短製邊愁定不肯腰圍
直幹
 風底香飛緩袖舉月前杆怨兩眉低
後中書
 年々別思驚秋馬夜々出聲不曉鷄
同上
 冬

初冬

十月江南天氣好可憐冬景似春花
白
 誰家思婦秋擣帛月苦風淒砧杵悲
延喜御製
 四時零落三分減萬物蹉跎過半凋
菅三郎
 床上卷收青竹簾篋中開出白綿衣
冬夜
 冬夜

一盞寒燭雲外夜數盞温耐雪中春白
尊敬
 年光日向燈前重客思唯從枕上生
尊敬
 思ひわさしゆきゆきはるのよれ
尊敬

歳暮

寒流帶月冷如鏡夕吹和霜利似刀
白
 風雲易向人前暮年月難從老底還
良春道
 ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
冬

爐火

黃醖綠醑迎冬熟絳牋紅爐逐夜開日
日
 看無野馬聽鶯鶯膺裏風先被火迎此火
此火
 應鑽花村取對來竹口有春情
管三和
 他時縱醉鶯花下近日那離獸炭邊
輔時
 霜
霜

三秋岸雪花初白三秋カサガハ 一夜林霜葉如紅一夜ノキノハ 溫庭澹
 萬物秋霜能壞色萬物トシノキ 四時冬日取凋年四時ノキ 白
 困寒夢驚或添孤婦之礎上困寒トシノキ 山深感動乞山ノキ
 侵四皓之鬢邊侵四皓ノキ 紀納言
 君子夜深聲不警君子ノキ 老翁年晚鬢相鬢老翁ノキ 管相丞
 舞已斷花亭鶴步舞已ノキ 初驚葛履人初驚ノキ 管三京
 晨積瓦溝鴛變色晨積ノキ 夜零雨表鶴吞聲夜零ノキ 紀納言

長と心しと孫そくくきけいといそと
 けいひしとけいひしとけいひしとけいひしと

雪

曉入梁王之苑雪滿群山夜登庾公之樓
 月明千里
 謝觀
 銀河沙漲三千界梅花開一萬株日
 雪似鵝毛飛散亂人披鶴氅立徘徊同
 或逐風不返如振群鶴之毛亦當晴行殘

胡塞能全使節潭池還恐失臣忠
胡塞能全使節潭池還恐失臣忠
 相規
 やまけれおとこをさるるわらけり凡
やまけれおとこをさるるわらけり凡
 惟石

霰

麀牙朱鯢拜脆龍頷珠投願寒
麀牙朱鯢拜脆龍頷珠投願寒
 音
 へやまけれおとこをさるるわらけり凡
へやまけれおとこをさるるわらけり凡
 若

佛名

香火一爐灯一盞白頭夜禮佛名經
香火一爐灯一盞白頭夜禮佛名經
 白

青自禪心無因欠花開合掌不因春
青自禪心無因欠花開合掌不因春
 菅坐相
 けいじのこころはなげなくはなひらくはな
けいじのこころはなげなくはなひらくはな
 合掌
 けいじのこころはなげなくはなひらくはな
けいじのこころはなげなくはなひらくはな
 不因春
けいじのこころはなげなくはなひらくはな
 菅坐相

和漢朗詠集上終

真龍來

Handwritten mark or signature

